

02/13・米財政悪化、7年ぶり水準 トランプ大統領が予算教書を議会に提出 < 1 >

減税や国防費増加で赤字107兆円見込む 甘い成長見積もり、不透明な削減案

- ・FXリスク減へ規制 金融庁 証拠金倍率10倍に下げ

02/14・GDP実質0.5%増（10-12月年率） 8期連続プラス 28年ぶり

- ・FRB議長「リスクに警戒怠らず」 金融引き締め維持
- ・恐怖指数、不正操作か 米証券取引委員会に匿名告発

02/15・米消費者物価0.5%上昇 1月、市場予想を上回る

- ・NY株続伸253ドル高 不安和らぐ 米長期金利は一時2.92% 円上昇、106円前半

02/16・黒田総裁再任国会に提示 政府が日銀人事案 緩和の出口封じた首相

黒田頼み潜む死角 財政規律緩む恐れ

- ・米、物価に上昇圧力 消費者物価コア指数、雇用逼迫で13年ぶり伸び < 2 >
- ・ドル安圧力根強く 市場「悪い金利上昇」も意識 < 3 >
- ・銀行融資0%台6割 資金需要引き出せず 揺らぐ事業モデル < 4 >

02/17・米、鉄鋼など輸入制限案 商務省 中国標的、日本も含む

米「貿易戦争」辞さず 鉄・アルミ輸入制限案 安保理由に 標的の中国「根拠ない」

- ・円、一時105円台 1年3カ月ぶり高値

02/19・企業のドル債務膨張 昨年末、世界で21兆ドル ドル高進めば新興国に打撃 < 5 >

- ・貿易赤字8カ月ぶり 1月9434億円 原油価格の上昇響く
- ・ブラジル五輪後遺症 財政難のリオ治安悪化 消費冷え込み深刻に

02/20・新興国マネー流出基調 米金利の上昇警戒、半月で76億ドル 株式や債券に調整色

- ・英中銀総裁 ビットコイン「通過として失敗」
- ・安倍首相「データ撤回せず」 裁量労働調査巡り衆院予算委答弁

02/21・東南ア、高成長続く 昨年主要6カ国 外需頼みにもろさ < 6 >

ベトナムは過去10年、タイは過去5年で最も高い伸び マレーシア、シンガポールも前年上回る

- ・米朝会談が直前に中止 五輪で訪韓米副大統領と金与生氏

02/22・米、利上げ加速の可能性 FOMC1月要旨「減税、景気上振れ」

米連邦公開市場委員会議事要旨「さらなる段階的な利上げが正当化される」

- ・米、ドル安容認姿勢 大統領経済報告書を議会に提出（21日）
- 貿易赤字に強い不満 「為替レートでの調整が一つの重要な機能になる」

<1>

トランプ政権の 予算教書のポイント

- 2019会計年度の歳出は前年度比5%増の4.4兆ドル
- 国防費は7%増と大幅増額
- 財政赤字はGDP比4.7%と7年ぶりの大きさに悪化
- 今後10年で生活保護など社会保障費は圧縮
- ムダの見直しも含め10年で4兆ドル歳出入改善
- 28年度の財政赤字はGDP比1.1%に圧縮

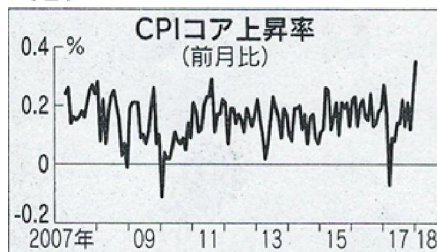
<4>

マイナス金利導入後、貸出金残高は 増えているが業績への貢献は乏しい

	2015年末	17年末
貸出金残高 (外貨など含まず)	445兆円	471兆円
貸出平均約定 金利	1.110%	0.946%
住宅ローン金利 (10年固定)	1.2%	0.8%
預金残高	675兆円	760兆円
普通預金金利	0.02%	0.001%

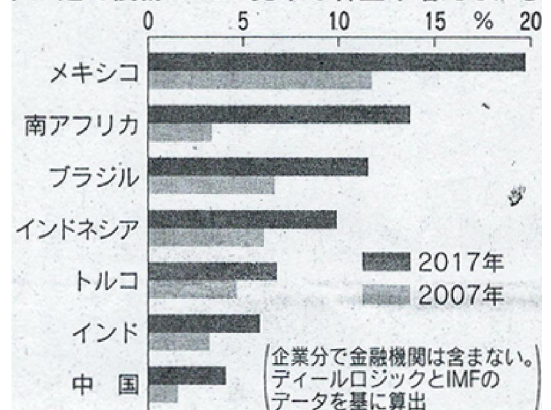
(注) 日銀統計から作成。住宅ローン金利のみみずほ銀行

<2>

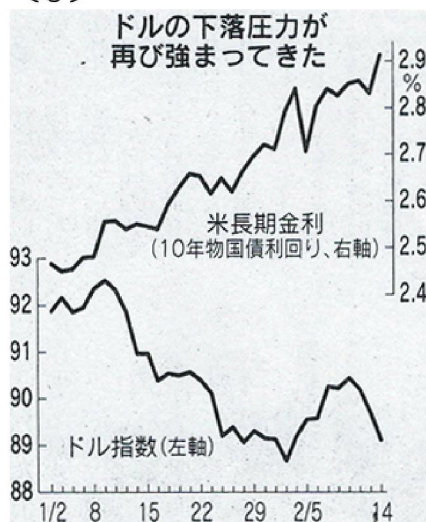


<5>

ドル建て債務のGDP比率は軒並み増えている



<3>



<6>

ベトナムの成長率は過去10年間で最高に (東南アジア主要国の経済成長率)

